



第一貨物のCSR活動

企業市民として、「豊かな社会・美しい地球の実現」をめざした多彩な活動を展開しています。

安全への取組み

Gマーク制度(貨物自動車運送事業 安全性評価事業)

Gマークは全日本トラック協会が「安全性に対する法令の遵守状況」・「事故や違反の状況」・「安全性に対する取組みの積極性」の3つの評価項目を厳しく評価して事業所単位に認定するものです。更に安全性の向上を目指し、全事業所で認定を受けるように取組みを行っております。(平成30年3月現在 67事業所)

環境への取組み

環境に配慮した車両(低公害車)の導入

2000年にCNG(液化天然ガス)を燃料とする低公害車を導入、2006年からは軽油エンジンとバッテリー併用のハイブリッド車を導入し、現在ではCNG車43台、ハイブリッド車133台の計176台が全社で稼働しています。

エコタイヤによるCO₂の削減

2003年より(株)ブリヂストン様との間で「エコバリューバック」システムを共同開発し、省エネとドライバーの負担軽減を図りました。

エコドライブの推進

年4回のエコドライブキャンペーン、運転職(集配・運行ドライバー)への環境教育を実施して積極的にエコドライブを進めています。

バイオディーゼルの使用

リサイクル社会を目指し、協力店舗から天ぷら油(廃油)を集めてBDF(Bio Diesel Fuel)に精製し試験的に活用しています。2005年より2t車6台に使用し、現在12台の車両が稼働し、全使用量の1%をBDF化する目標に取組んでいます。

『グリーン経営認証』の取得

『グリーン経営認証』とは、交通エコロジー・モビリティ財団が認証機関となり、グリーン経営推進マニュアルに基づいて一定のレベル以上の取組みを行っている事業者に対して、審査のうえ認証・登録を行うものです。地球環境保全活動の一環として取得を進め、これまでの取組みをより一層効果のあるものとするべく、進めて参ります。(平成30年3月現在 24事業所)

植林活動

地球温暖化の主な原因であるCO₂問題は、私たちの事業においても大きな課題です。

山形県東村山郡山辺町の国有林1.3haに、豊かな自然を象徴するブナ3,000本を植樹造林し、「創生の森」として今後50年間これを育む活動を始めました。50年後の青い風吹く豊かな森づくりに向け、そして環境の時代に向かって動き出しています。

社会貢献活動

盲導犬について

盲導犬を必要としている人が、日本には約8,000人いると言われていますが、現在活躍している盲導犬は1,070頭しかいません。社会における盲導犬の育成・普及のために弊社は法人会員として盲導犬育成事業を支援しています。

スペシャルオリンピックスへの協力

スペシャルオリンピックスとは、知的発達障害のある人たちに日常的なスポーツトレーニングと成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供し社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。現在では4年に一度夏季と冬季に分けて世界大会を開催している他、国内でも大会を開催しています。弊社では、国内の大会で使用される特殊機器の輸送を行っています。



山形県東村山郡山辺町「創生の森」の植林活動